

会津出身でありながら陸軍大将になった不屈の軍人

柴五郎と 会津武士道

第三十八回歴史講演会



■柴五郎の名が歴史の表舞台に登場するのは、明治33年に清国で勃発した義和団の乱(北清事変)である。この時、僅かの日本軍と各国義勇隊を見事に統率、指揮して、4万人もの義和団の攻撃から公使館区域を守り抜いたのが駐在武官であった柴五郎中佐である。

■戊辰戦争後、一家は主家共々陸奥国斗南(青森県むつ市)に移住。極寒の地での生活は困窮を極めた。朝敵、賊軍の汚名を着せられながらも、絶望的な境遇を必死に生き抜いた柴を支えたものは、会津武士の矜持であった。

■人生の如何なる困難にもくじけない、勇気と力を与える講演会にあなたも是非ご参加下さい。

おかだ みきひこ

講師 **岡田幹彦氏**

(日本政策研究センター主任研究員)



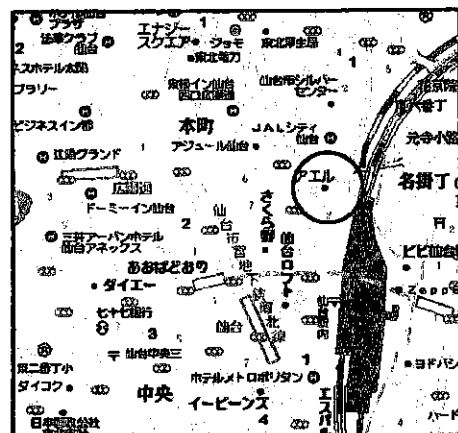
■プロフィール

昭和21年、北海道生まれ。国学院大学中退。学生時代より、日本の歴史、人物の研究をつづけ、月刊『明日への選択』に多くの人物伝を連載中。「歴史街道」「歴史通」などにも寄稿。平成21年～22年(毎週)産経新聞に「元気のでる歴史人物講座」を連載(103回)。全国各地で歴史人物の講演活動を行っている。現在、日本政策研究センター主任研究員。

著書『東郷平八郎』『乃木希典』『小村寿太郎』(展転社)

『日本を護った軍人の物語』(祥伝社)

『日本の誇り103人-元気のでる歴史人物講座』(光明思想社)ほか



とき 4月29日(月・祝日) 午後6時～8時

ところ 仙台市情報産業プラザ
アエル6階・セミナールーム2B

参加費 一般1,000円・学生無料

主催 宮城ビジョンの会 TEL022(285)3383

後援 宮城県教育委員会・産経新聞社東北総局・日本会議宮城県本部